

平成 25 年度宝塚さざんか福祉会事業計画

1 各事業所の利用者（定員）

事業所	利用者数		計
宝塚さざんかの家	生活介護 37 (30)	自立訓練 8 (10)	45 (40)名
宝塚あしたば園	生活介護 46 (40)		46 (40)名
宝塚めふプラザ	生活介護 24 (20)		24 (20)名
宝塚けやきの里	生活介護 30 (30)		30 (30)名
ワークプラザ宝塚	生活介護 37 (34)	就労移行 6 (6)	
	就労継続 B 型 9 (10)		52 (50)名
かしの木工房 こはま	生活介護 11(10)		
	就労継続 B 型 10 (30)		21(40)名
従たる作業所「SasanQuality」	生活介護 8 (8)		8 (8)名
いきいき宝夢	生活介護 40 (40)		40 (40)名
			合計 266 (268)名

2 経営計画の策定

委員会設置要綱に基づく経営委員会を設置し、当法人の宝塚市における役割を再認識し、法人の理念の確立及び理念実現のためのビジョンを策定します。

3 施設老朽化に伴う改修・修繕工事の計画的実施

昭和 53 年に竣工した宝塚さざんかの家をはじめとして、建設後相当の年数が経過した施設については、給排水設備、空調機、電気設備等の不具合や外壁等建物の一部老朽化が見られるため、各施設の点検調査を実施し、今年度から計画的に工事を実施していきます。

対象施設

宝塚さざんかの家（昭和 53 年）	宝塚あしたば園（昭和 61 年）
ワークプラザ宝塚（平成 5 年）	いきいき宝夢（平成 11 年）

4 安倉南作業所の利用

「かしの木工房 こはま」開設までの暫定作業所として使用した安倉南作業所については、当面、各事業所共用の作業場やレクリエーション等の場として利用することとし、将来的には今年度策定する経営計画に基づき、バリアフ

リーの特性を活かした事業所としての利用を検討していきます。

5 従たる作業所の整備

知的障害を持つ多くの方が、店舗のような一般就労に近い職場で働くことは、働くことの喜びを感じ、働くことへの自信を深め、また自立への意欲を高めることができます。「SasanQuality」に続く新たな「従たる事業所」の開設を引き続き検討していきます。

6 就労支援活動の充実

就労希望者の就労体験の場として重要な実習協力企業については、従来より協力企業の開拓、確保に努めてきましたが、いまだ十分とは言えません。このため、宝塚市障害者自立支援協議会（しごと部会）が計画する宝塚市障害者職場体験実習事業について同協議会と連携、協力し、その具体化に取り組んでいきます。

7 相談支援事業の充実

障害者自立支援法に基づき、平成 24 年度からサービス等利用計画作成、地域移行支援、地域定着支援等の業務が義務化されましたが、とくにサービス等利用計画作成業務の増加が著しく、相談支援センターの人員体制を強化して円滑な業務遂行を図ります。

8 ケアホームの運営

年々、増加するホーム利用希望者に対応して平成 24 年度は 2 か所のケアホームを開設し、ホームは 18 か所になりましたが、さらに本年度は、平成 26 年度に安倉南地域に開設する 2 か所のケアホームの建設を進めます。また、ホームの運営管理についても、これを円滑に行うため人員体制の強化も行います。

9 障害者虐待防止等の研修

従来より法人では職員倫理綱領を制定し職員の人権意識の高揚に努めてきましたが、とくに昨年は障害者虐待防止法の施行を機に、管理職及び一般職員を対象に数回にわたって虐待防止研修を実施しました。本年度におきましても引き続き積極的に職員研修を行い、一層の人権意識の徹底を図ります。

10 東日本大震災被災者支援

平成 24 年度に続き、被災地の手をつなぐ育成会等の要請に応じて職員を派遣し、また被災地作業所の授産品の購入及び販売促進の支援を行うなど継続して被災地の復興支援に努めていきます。

11 法人紹介 DVD の制作

当法人の事業概要や支援サービスの内容等を広く外部に紹介するための DVD を制作し、事業所見学、求人活動、サービス利用希望者及び地域市民への啓発活動等に利用します。制作にあたっては、職員による制作チームが企画、シナリオを作成し、映像撮影や編集など技術面は映像制作会社へ委託します。